

令和7年度 仙台市中学校総合体育大会ソフトボール競技 実施要項

1. 目 的 仙台市中学校ソフトボール競技の向上と強化を目的とし、仙台市内の優秀なチームを選抜し、試合を通して精神力と競技力の向上を図る
2. 主 催 仙台市中学校体育連盟 仙台市教育委員会
3. 主 管 仙台市ソフトボール協会 仙台市中学校体育連盟ソフトボール専門部
4. 会 期 令和7年6月14日(土) , 15日(日) , 16日(月) [予備日: 17日(火) 18(水)]
5. 会 場 海岸公園第3～6球場
6. 県大会出場枠 7校 (各ブロック優勝校4校, 代表決定戦勝者3校)
7. 登録人数 選手18名, 監督1名, 引率責任者1名, コーチ1名の計21名以内
8. 競技規則 2025年オフィシャルソフトボールルールによる
9. 競技方法 4ブロックに分かれ、各ブロックトーナメント方式で行う。
各ブロックトーナメント終了後、県大会の第1～7代表を決める代表決定戦を行う。
10. 表 彰 各ブロック優勝校には優勝杯・賞状, 準優勝校には賞状を授与する。
11. 申し込み 令和7年5月14日(水) 抽選会のときに提出
※申込書は、仙台市中学校体育連盟のホームページから、各校でダウンロードする。
※合同チームの申請書は、令和6年5月7日(水) までに部会長に提出する。
12. 抽 選 令和7年5月14日(金) 15時～ 仙台市立沖野中学校にて行う。
13. 諸 会 議 専門部会(抽選会) 5月14日(水) 15時～ 仙台市立沖野中学校にて
監督会議 6月14日(土) 8時～ 大会会場
※会場準備 6月14日(土) 7時～ 大会会場
表彰式 決勝戦終了後 ※開・閉会式は実施しない。
14. 大会規定
 - (1) 打順表は、試合開始時刻30分前までに、または、前の試合の4回終了時に、主将が当該球場審判主任に5部提出する。その際、所定の用紙(5枚1組)に必要事項(登録選手全員)を記入し、氏名に必ずふりがなをつけること。
 - (2) ベンチは、組み合わせ番号の小さい方を一塁側とする。
 - (3) セラミック製および、金属製のスパイクは禁止とする。
 - (4) 捕手は準備投球の時もスロート付きマスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガースを着用すること。捕手以外の選手が捕球するときは、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメットを着用すること。監督、コーチが準備投球の捕手をする場合は、スロートガード付きマスクを着用する。また、捕手用ヘルメットを着用することが望ましい。
 - (5) フィールディングは後攻チームから行い、5分以内とする。
 - (6) 監督、コーチ、引率責任者、選手以外の試合の関与は認めない。
 - (7) 抗議(プロテスト)は、監督に限る。

- (8) 試合球は、公認球ゴム製3号（ケンコーボール3号）を使用する。
- (9) 各ブロック決勝・代表決定戦以外は、試合時間は90分とする。制限時間を超えて新しいイニングに入らない。同点の場合はタイブレークを行い勝敗が決するまで行う。点差によるコールドゲームについては、オフィシャルルールに則る。
- (10) 原則として、試合時間の変更は行わないが、雨天、日没、不測の事態による試合時間の変更もありうる。
- (11) 選手または背番号の変更は、監督会議までとし、それ以後の変更は認めない。変更する場合、監督会議に新たに訂正した申込書（職印入り）とそのコピーを15部持参すること。
- (12) サスペンデットゲームを採用する。
- (13) ベースコーチは選手のほか、コーチボックスの一方に監督・コーチが入ることを可とする。ただし、その際のベンチ内には、引率責任者、監督、コーチのいずれかが必ずいること。

15. 大会申し合わせ事項

- (1) 大会参加チームは、会場準備などを手伝うこととする。また、その日の最終チームは、会場片付けを手伝うこととする。
- (2) 選手は、中学生にふさわしい行動をとり、容儀・言動などマナーに十分留意すること。
- (3) 鳴り物による応援は禁止する。（メガホン、うちわ、ペットボトル等も含めて）
- (4) 大会中の不慮の怪我・傷病については、当該校で処置することとする。
- (5) 大会期間中の車両へのいたずらや事故には、大会本部は一切責任を持たない。
- (6) 試合が連続する場合は、原則として30分空けてからのベンチ入りとする。
- (7) 監督、コーチもユニフォームを着用し、ナンバーは、監督30番、コーチ31番をつけること。
- (8) ゴミはすべて持ち帰り、会場を汚さないこと。
- (9) 各チームで互いに大会補助員を出すこと。
- (10) 雷鳴があった場合は、試合を一時中断し、雷が鳴り終わってから20分後に試合を再開する。
- (11) 試合中にメガホンを使用できるのは、監督のみで1個だけとする。
- (12) 投手が投球姿勢（セット）に入り、投球が終了するまで、両チームは声出しや応援をやめ、静寂を保つこと。
- (13) 試合中の投球練習は、危険防止のため1組（内野→外野の向き）とする。また、危険防止のため、カバー役を1名投手側につける。
- (14) 雨天時は実施の可否を5時20分までに会場責任者が専門委員長に報告し、5時30分に会場責任者から各校顧問に連絡をする。